



鈴鹿サーキット 交通教育センター SUZUKA CIRCUIT TRAFFIC EDUCATION CENTER

日本の交通教育をリードしてきたパイオニア、 鈴鹿サーキット交通教育センター(STEC)が、 2007年8月、新しく生まれ変わります!!

鈴鹿サーキット交通教育センター(Suzuka circuit Traffic Education Center:STEC)が産声を上げたのは、名神高速道路が開通した1964年。1962年に日本初の本格的国際サーキットとして鈴鹿サーキットが誕生してから2年後のことです。

まだ自動車が憧れの存在だった時代、世は文字通りモータリゼーションの黎明期であり、まさにSTECは日本の自動車社会の目覚めとともに生まれたこととなります。

STECでの記念すべき「受講者第1号」は、交通警察官(白バイ隊員)。

以後、急激に自動車社会が発達する中で、交通安全に対する意識の向上に合わせて、官公庁・各種団体職員のみならず、様々な一般民間企業を中心にご利用いただくようになりました。そして、その受講生は約100万人(2006年までの延べ人数)に達しようとしています。また、小学生・中学生などの免許取得前の交通安全教育から高齢運転者の研修まで、総合的交通安全教育施設ならではのアプローチで、ますます多様化する交通社会における安全教育について取り組んでいます。

STECは、日本における交通安全教育のパイオニアとして、常に先駆者の立場で新しい交通教育のあり方を世に示してきました。

そのSTECが、近年の交通状況の変化と先進安全技術が進化する中で、受講される方々の多様なニーズに対応できる交通教育環境を整えるため、新しいプログラムを追加、施設も一新して、2007年8月にオープンします。



2007年新たにオープンするSTEC

■新鈴鹿サーキット交通教育センター概要

施設・項目等	仕 様
■新STEC総面積	53,500㎡
・講習コース 第1実技トレーニング会場	38,740㎡
・2輪法定教習コース	8,160㎡
・本館延べ床面積	2,578㎡ 洗車機、ガソリンスタンド併設
■講習コース 第2実技トレーニング会場	24,484㎡
■インストラクター数	20名
■トレーニング車両	2輪:292台 4輪:132台

※新STECは、講習コース(第1実技トレーニングコース)、教習コース、本館、二輪ガレージ棟から構成されています。

鈴鹿サーキット交通教育センターの不変のテーマは『人間教育』

STECでは、開設以来、交通社会の一員としてのモラルを持ったドライバーの育成という「人間教育」を基本理念に安全教育を行っています。交通安全の3要素である「人＝ドライバー」、「クルマ」、「環境」を軸に、クルマを運転する人は、どんな自覚を持つべきか、クルマはどう扱うべきものなのか、そして周囲にどのような心遣いをするべきか、を問いかけます。そしてさらに「安全」、「確実」、「事故削減」を加え、交通社会におけるあらゆる場面で、安全運転の「心と技」を届けてまいりました。運転技術のみに偏ることのない指導は、私たちの不変のテーマです。

鈴鹿サーキット交通教育センターの目指すもの

STECは、改修を進めるにあたり、以下の4つの目的を設定しました。

- ①変化する交通環境・社会環境に対応した先進の安全運転カリキュラムを開発し、企業様のニーズ、事故形態に応じたフレキシブルな展開を可能にする
- ②インストラクターの経験・感に委ねられていたアドバイスを客観的なデータで裏づけしフィードバックを可能にする
- ③世代を超えて、車やバイクを操る喜びを体感できるプログラムを充実させる
- ④時代に応じた快適環境をご提供する

そして、これらに加え、社会のニーズやお客様の期待を加味して、より進化した安全運転教育を提供いたします。

より進化した安全運転教育の提供

社会のニーズ

- 多発する自動車事故の防止
 - 致死率の高い夜間事故の防止
 - 増加する高齢者運転者事故の防止
- など

お客様の期待

- 個人に応じたきめ細やかな教育
- 認知・判断のミスへの効果的な教育
- 進化した車両に対応した教育
- 安全で快適な研修環境

新たな4つの教育プログラムを用意

- ①運転習慣チェックプログラム
- ②多発事故対応プログラム
- ③夜間事故対応プログラム
- ④安全デバイス体験プログラム

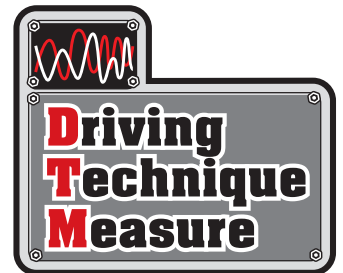
新しい鈴鹿サーキット交通教育センターは、第1実技トレーニング会場を大幅に改修。平らな部分の面積拡大と各種コースを多目的に対応できる充実した施設としています。

交通教育センター本館の全面改修を行い、使い勝手の良い快適な教育空間を実現。また、今回新たに4つの教育プログラムを追加。受講生の運転映像や記録データを基に、自らの運転を振り返り、気づきを促すプログラム導入により、ハード・ソフトの両面からより効果的に意識と行動の改善をはかることを目的としています。

最新鋭機器を導入した4つの新プログラムを用意しました

①運転習慣チェックプログラム／個人別データのフィードバック(四輪車専用)

車載の新教育支援システムがドライビング・テクニック・メジャー。このドライビング・テクニック・メジャーを活用し、安全運転に関する自己認識レベルと客観的に見たレベルとが、どれくらいかけ離れているかを数値で明確にします。ドライビング・テクニック・メジャーとは、GPSによる走行軌跡、対地速度などと、運転操作状況のデータを同時に測定し、運転者がどこでブレーキを踏み、ウィンカーを出してそのコースのどの位置を走行したかなど、受講者自身のドライビング操作状況を分かり易くグラフィカルに表示するもの。受講者のドライビング操作状況を無線LANでデータ処理端末に送信し、走行結果の評価が出力でき、受講者自身が改善点に気づき、考えることで、安全運転に対する意識を高めることができます。



②多発事故対応プログラム／多発する事故形態に対応(四輪車専用)

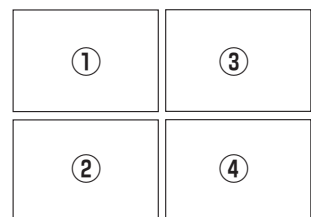
車載した小型カメラで撮影した車両前方の風景、運転者自身の様子、また走行中のアクセル操作量、車間距離などを一つの画面に合成して、動画として記録します。受講者は、走行後にその映像を見ながら運転を振り返り、インストラクターとともに、追突や出会い頭など多発事故要因を考えていくことで、事故への抑止へとつなげることを目的としています。

③夜間事故対応プログラム／重大事故に結びつく、夜間・雨天の危険性を検証

本館の大教室では、夜間事故の原因をハイビジョン対応の大型スクリーンを使用したオリジナル映像で、昼間でも臨場感ある夜間シーンを再現し、様々な観点から検証します。映像は、都市部・郊外における薄暮時や深夜、早朝までのそれぞれの特徴を再現し、事故が発生しうる要因や対処方法を導き出すことを目的としています。また、併せて屋外には新たに降雨装置を設置。視認性の悪化する夜間降雨時の視認性についても再現して、事故発生要因や対処方法など、テーマに応じた幅広い講義内容を提供します。このプログラムは、ドライバーだけではなく、歩行者、特に児童や学生、高齢者などにも有効であると考えられます。

④安全デバイス体験プログラム

『安全デバイス』を使った体験型教育。Hondaの開発した最新安全ドライバー支援装置である、追突被害を軽減するブレーキシステムCMBS (Collision Mitigation Brake System) や、車両挙動安定化システムVSA (Vehicle Stability Assist) など、先進安全技術の効果や正しい知識などを安全に、実際の運転の中で体験できます。



- ①新STECで導入したドライビング・テクニック・メジャー搭載車両
- ②フルハイビジョンスクリーン
- ③降雨装置
- ④安全デバイス CMBS体験

新コース・施設の概要

①周回路コース(外周)

一周770mの一般道路を想定したコースです。「運転習慣チェック」プログラムを実施します。

②運転と反応コース(コーナリングコース)

LEDの光を、前車の仮想テールランプとして、目の前に起こった出来事に対し、運転者がどのようなメカニズムで対応しているかを学びます。空走時間、空走距離の確認ができます。

③スキッドコース(四輪車専用)

面積1,957㎡、5種類の滑り易い路面(摩擦係数0.5 μ 、0.4 μ 、0.3 μ 、0.2 μ 、0.1 μ)を組み合わせたコースです。摩擦係数0.1 μ で傾斜地を設定しています。ここでは、滑りともなう様々なクルマの特性を、低速度域で再現しながら学ぶことができます。

④ブレーキコース

全長260m、高 μ 路・中 μ 路と低 μ 路を併せ持つコースです。速度の自動計測、WET・DRYの比較が可能になりました。

⑤バリアブルコース

降雨装置を持つ、多目的のコースです。雨天体験をはじめ縦列駐車、車庫入れなどのプログラムを実施します。

⑥スラロームコース

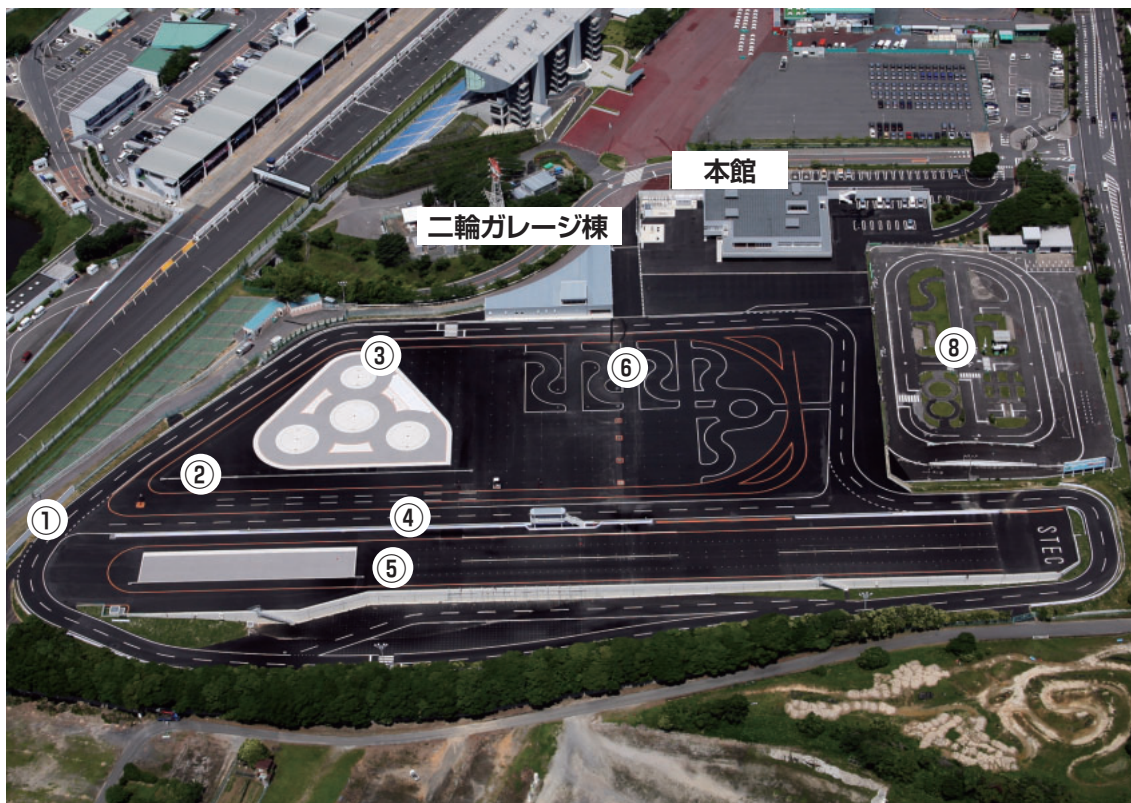
多様なスラロームコースが設定できるコースです。二輪車や四輪車の運転技能向上に向けた、複合的な連携操作を学ぶことができます。

⑦第2センター(鈴鹿サーキット北側エリア)

混合交通を中心とした総合トレーニングコースです。様々な交通参加者に対応できる市街地走行トレーニングコースです。また、ブレーキングや運転と反応、スラロームの基本トレーニングを実施できます。
※以下の写真エリアとは別施設となります。

⑧2輪法定教習コース

2輪免許取得のための法定教習エリア



■本館の概要

延床面積2,578㎡(1階1,086㎡、2階1,492㎡)からなる2階建ての施設。全面改修した本館は、大型スクリーンにハイビジョン映像を投影できる大教室をはじめ、少人数から大人数まで対応できる計8つの教室を設けました。開放感のあるロビーやラウンジ、応接室、コンサルティングルーム、更衣室、乾燥室などを配置した2階建ての施設となっています。また、今回新たにキッズルームを設置し、小さなお子様がいる方も安心してお越しいただける環境を整え、施設内にはエレベーターを設置し、バリアフリー化にも配慮しています。さらに、トレーニングコースを見渡すことのできる見学スペースを確保し、子供からご年配の方々など、幅広い年代に使い勝手の良い施設としています。

■二輪ガレージ棟

総面積902㎡、二輪用ガレージ2室、コントロールルーム、運転習慣チェックプログラムの発着場で構成されています。研修に使用する二輪車292台を収容することができます。